

慶告式を厳修致しました。檀信徒の皆様方には、それぞれご多用の中に多くの方々にご参列を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

また、檀信徒の皆様方には、本堂大改修、山門、鐘楼堂改修の「ご寄進」をお願い申し上げまして、大変お世話になりました。檀信徒の皆様方の御理解と御協力の賜ものと、改めて感謝を申し上げます。

大改修工事請負の「池田一郎設計士」、「株式会社玄匠」様方には「御寄進」をいただくと共に、大改修工事に於いては一方ならぬご苦勞であつたらうと思ひます。檀信徒一同感謝を申し上げます。ごさいます。護持会一同、今後共に菩提寺興隆に努力を重ねて参りたいと存じますので、よ

ろしくお願い申し上げます。檀信徒の皆様方におかれましては、日増しに暑さが厳しくなつてまいります。

本堂改修工事のあゆみ

護持会総代・事務局担当

田中栄一



落慶記念品を受取り頭を下げる田中総代

体調に充分留意致されますよう、ご祈念申し上げます。意を尽くしません。感謝いたします。合掌

この度の、平成三十年六月十日落慶、誠におめでとうございました。

これまでの檀信徒の悲願でありました本堂改修計画も、何度となく頓挫していたのも事実です。しかしながら本堂改修計画を進めるにおいては、台風被害等があり本堂の雨漏りが酷くなり、平成二十七年三月十六日に建設準備委員会設立の承認をいただき、今後に向けてのスケジュール等の作成に向けて動き出しました。その後、平成二十八年三月十六日の護持会総会におき

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

まして、建設委員会の設立承認をいただき、本格的に始動開始の状況下、平成二十八年四月十四日前震、十六日本震、未曾有の熊本地震がおきました。

これにより、檀信徒会館は一部損壊、鐘楼堂、山門も同じく一部損壊、本堂においては半壊の診断が下され、早急に本堂改修計画ではなく実行に移すべきと判断、ある設計施工の建設業者を通じて本堂改修現場の八代人吉の二カ寺へ行きました。視察においては大変素晴らしい施工状況を見せていただき、この業者で良かったと思つたのも束の間、ここで業者の信用を無くしてしまふ様な出来事がおきました。見積書提出期限が約束の平成二十八年九月十二日、第五回本堂改修建設委員会



開式前に記念撮影：田中総代（左）

に間に合わず、この様な状況では先々大丈夫だろうか、と不安が過つたのも参加者全員の思いでした。

その後、総代会において新たに設計士を選任して、（後の池田一郎設計事務所）三社の相見積の依頼、査定いたし、第六回本堂改修建設委員会に議案上程を行い、設計監理を池田一郎設計事務所、施工を株式会社・玄匠と決定いただき、平成二

十八年十二月十日、臨時護持会総会を開催し出席者全員の承認をいただきました。平成二十八年十二月二十二日、設計監理を池田一郎設計事務所、施工を株式会社・玄匠と契約を締結致しました。ここまで辿り着くまで、本当に檀信徒の皆様のご理解をいただくことが出来、感謝申し上げます。

ここで一服。改修工事におきましては、新築か改修か。木造か鉄筋コンクリート造りか。と種々の意見が御座いましたが、永年の信仰の魂が籠つた、一つ一つの部材を再利用することが一番の供養になるのでは、と決心をいただきました。いよいよ建設に向けての準備が整い、平成二十九年四月十二日起工式。五月より本格的に解体工事、作業

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売
有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

を行う過程において色々見えていない問題が出てきました。予想をはるかに超えるシロアリの被害、風雨に負けじと耐えてきた本堂ではありますが、やはり百八十年もの長きにわたり、瀕死の重傷で、よくぞ耐え続けたものと感銘を受けました。

平成二十九年十一月一日、上棟式が執り行われました。多くの皆様に参加をいただき、式典が開催され（第七十三号、七ページを参照下さい）、その後の工程会議を院首、住職、総代、顧問、建設関係業者と通算十二回を重ねて、今回の落慶の運びとなりました。

思い返しますと、約十四カ月の工期を費やし、県下でも稀に観る彫刻、絢爛豪華な内陣の彩色、改めてこ

の本堂改修に係わった一人として、未来永劫、信仰とともに生き続けてほしいものです。

祝・本堂山門鐘樓堂改築

護持会顧問 鬼木信次郎



本堂・山門・鐘樓堂改築おめでとうございます。

常明山・圓頓寺は、寛永元年（二六二四）久本院日授上人により開山され、その後火災で焼失し、約二百年前に再建されました。近年は、建物の老朽化に加え、台風

最後に、改修工事に関わっていたいただきました全ての皆様方へ衷心より、御礼申し上げます。合掌

や、二年前の熊本地震による被害も大きく、雨漏りなどに悩まされておりました。私たち護持会も何度となく相談・検討を重ねました。そして、設計監理を一級建築士池田一郎氏、施工を株式会社・玄匠に依頼し、平成二十九年四月十二日起工式、工事安全祈願祭を行い、その後解体工事が始まりました。工事中に白アリによる被害が思ったよりひどかったことが判り、地震によく耐えたかと安堵しました。そして、今年六月、約一年以上の工事を終え本堂が完成し



地域に密着した熊本の保険代理店

アップワード エスト保険

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■NKSJひまわり生命 ■アメリカンファミリー生命 ■大同生命 ■メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■オリックス生命 ■ソニー生命 ■エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

私、足腰が悪く、あまり工事現場に行くことが出来ませんでした。が、第八回建設委員会の時、介添えしていただき石段を登り、初めて本堂の中に入った瞬間、心を揺さぶられました。天井の龍、立派な彫刻、骨董的な欄間、正面の金箔、柱の色艶などが、蒲島知事が祝宴の祝辞で述べられた創造的復



知事とコップを合せる鬼木顧問(右)

圓頓寺大本堂及び山門、鐘楼堂の平成の大改修を終えて、目出度く落慶式が執り行われた事にお慶びを申し上げます。と共に、思いがけず蒲島郁夫熊本県知事に



護持会顧問 阿蘇品宗旭

先祖を敬う落慶

興、改築前よりいい形で新しい本堂で復元されています。何と素晴らしい事でしょう。この感動は一生忘れられません。工事に携わってくださった皆様本当にご苦労様でした。ありがとうございます

ご参加いただき、一緒に集合写真に写り、祝宴ではご祝辞を頂戴し、乾杯の後、暫く懇談が出来ましたことは、記憶・記録に残る私の大事な一日となりました。湯の町山鹿は、昔から県北の経済の中心として繁栄し、旧町には大きなお寺が六カ寺ありますが、他の五カ寺は早々と改修が行われており、他寺の銀色に輝く本堂を眺め、圓頓寺の改修を一日も早くと待ち望んで

ございました。最後にになりましたが、護持会の会員の皆様に深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
南無妙法蓮華經

印刷盛文社有限公司

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

いました。

私が総代をしていた十数年前から本堂改修の提案をしていきましたが機は熟せず、三年前から機運が高まり英人上人の奮起の元、総代会や護持会総会、建設委員会の会議を重ね、檀家の皆様のご支援により、ようやく実現したことに心から敬意を申し上げます。

さて、圓頓寺の沿革を辿りますと、開祖以来一八三五年（天保六年）の火災により本堂や庫裡が焼失し、当時の祖先の嘆きはいかばかりであったでしょうか。その時代は、ペリーが黒船を率い開国をせまり、江戸の幕府も攘夷論等世相は混沌とし、天保の大飢饉、各地で起きた大地震や災害と悲惨を極めた時代でありました。しかし、苦難を乗り越え



知事と懇談する阿蘇品顧問（左）

ながら十九年もの長き歲月をかけ、現在までの大本堂を建立されたのです。当時は、百軒にも満たない数少ない檀家だったろうし、柱や床材、土台の石材などの切り出し、特筆すべき事は、他のお寺に類を見ない荘厳な彫刻は極彩色に彩られ、経費や苦役は想像を絶するものであったと思います。しかし、我々の先祖は、強

い信仰心と未来の子孫の安寧を祈願し、大本堂を建立された事でしょう。

その本堂も一八三年の歴史の風雪に耐えながら、熊本地震にも持ち堪えました。が、ここ十数年の傷み具合は目を覆うものでした。大屋根を支える梁にはシロアリが蔓延し、セメント瓦の劣化やずれ落ちは雨のたびに御本尊や仏具、本堂内の華麗な彩の装飾を施した柱や梁の彫り物にも多大な被害が発生し、遠い先祖の御心を穢したのではと、心を痛めたものでした。

そのような窮状から悲願の大改修が一年三カ月の歳月をかけて成就したことは、これから永遠に繋がっていく私達の子孫の為にも、日蓮宗徒として大切に護持していかねばなりません。そ

寺社建築設計施工・一級建築士事務所

株式会社 玄 匠

代表取締役 高橋 健二

〒830-0102 久留米市三潯町田川1728-2

TEL 0942-65-1866 / FAX 0942-65-1867

して、二〇〇年後か、いつの頃かこのような大改修が行われる時、私達の子孫は同じようにこの大改修の偉業を振り返って、思いをはせる事でしよう。

これから未来永劫に圓頓寺檀家は異体同心、信仰に励み平成最後の改修の熱い思いを、子々孫々に至るまで伝承していくことも大事な事と考えています。

これから、圓頓寺と檀家の皆様のご繁栄を心から祈念申し上げます、お祝いと致します。

合掌

寒暖差大きい寒修行

初日は足慣らしです

一月二〇日午後七時、住職が仮本堂前で出立の祈りを捧げ出発。初日は足慣らしのコースです。大寒でしたが手袋をはめずに、団扇

太鼓たたきお題目を唱え歩きました。お寺に帰着後中原総代が、時間は四十分、参加者十六名とお布施額を報告後、お題目三唱してお茶をいただきました。

蒲島知事がお墓参り

お茶を飲みながら歓談中院首上人から、『今日午後五時頃、住職、私、中原総代さん親子四名で、本堂の改修状況を見ながら話し合っていたら、蒲島郁夫知事が山門をくぐってこられ、お墓参りをされました。突然知事が来られたのでびっくりしました。知事は改修中の本堂も御覧になりました。落慶式のことを話したら、秘書の方にメモを指示されました。』という話題が出されたときは、参加者一同驚き、喜びました。

一日目温か・四日目寒い

二日目の二十一日も温かく、豊前街道や街中心部のコースで唱題行・行脚行を行いました。時間は四十五分、参加者十二名でした。

四日目の二十三日は、関東地方の大雪と草津白根山の噴火がテレビを占め、山鹿地方も冷えた日で、熊入町を回るコースです。住職など先頭グループが過ぎてから四名の方が家を出てこられたので、先導役の中原総代は、その都度先頭から最後尾まで戻ってお布施をいただきました。寒行札を渡されました。時間は七十分、参加者十六名でした。

まさに寒修行・五日目

出立に際し住職が、「寒くなりましたが、本堂の寒行です。」と挨拶したように、前日以上に冷え込んだ寒修行中日の二十四日は、鹿校

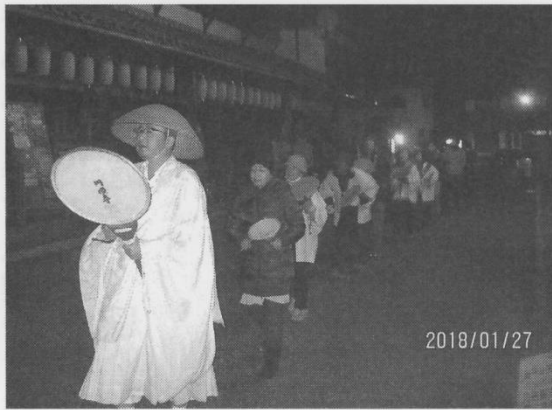
通、原町コースです。今日は多くの方が家の前で待っておられ、中原総代にお布施を渡されました。時間は七十分、参加者十八名でした。

宮大工さんからお布施

出立の祈り後住職が、「寒行も残り三日となりました。疲れがあると思いますが、一生懸命修行しましょう。」と挨拶して出発。二十六日のコースは、昭和通、宗方、泉町です。私は最後尾を歩きましたが、後ろから「お待ち下さい」の声で振り返ると、男の人が走ってきてお布施を渡されましたので、お礼を言ってお布施を渡しました。お布施は多くの方からいただきましたが、本堂改修工事をしている宮大工の方々からもいただきました。時間は五十分、参加者十六名でした。

竹灯り準備の横を歩く

八日目は幾分か寒さがやわらぎ、八千代座前を通るコースで、二月に行われる「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」の準備が進んでいました。時間は五十分、参加者十九名でした。本堂改修工事現場監督補佐の山本峻輔さんも参加し、今日で七日目の寒修行でした。



2018/01/27

八千代座前を行く寒修行団

九日間雨降らず成満

最終日は午後六時にお寺

を出発、短めのコースで十二名の参加でした。お寺に帰着後仮本堂で、寒修行成満納めの会が奉修され、その後懇親・慰労会が行われました。九日間雨が降らず、歩いて修行が出来たことを感謝しました。

【皆勤の方】中原康一総代、東島広子さん、栗原修一さん、中原巨人さん。【八日間参加の方】瀬口ミス子婦人会会長、伊藤千恵子さん。

お彼岸法要 鬼子母神大祭

好天に恵まれた三月二十八日、仮本堂（檀信徒会館）において春季お彼岸供養法要会・子安鬼子母神大祭が行われました。

太鼓とお題目で住職英人上人ら四名の式衆をお迎え

し、お彼岸供養法要会が奉修されました。式衆の読経が続き、大太鼓、木柀、団扇太鼓に併せて参詣者で唱題行を行いました。

休憩後式衆が入堂し、住職が鬼子母神尊像前で切火を切り、住職と院首上人が木剣加持祈祷、子安鬼子母神大祭が厳かに始まりました。式中、院首上人により子安講の祈祷祈願お札とお守りが祈祷されました。また、式衆住職により全参詣者の祈祷も行われました。

住職「挨拶報告説明」

法要終了後住職が、春季お彼岸法要、鬼子母神大祭への参詣に御礼、時候の挨拶、お彼岸に修行するのは尊い行い、お参りいただきご先祖様も喜ばれる。鬼子母神様は、法華経を守護する善神、子供を守護する力

を持った神様です。圓頓寺の鬼子母神様の説明、本堂改修の状況、鐘楼堂・山門の改修見込み、落慶法要を六月十日に予定。などを報告・説明され、続いて、

住職・お嫁さんを紹介



私事ですが三月十日、仮本堂仏前において結婚式を挙げました。とお嫁さんを紹介されました。名前は唯（旧姓・社方）、一般の家庭の出身で、お寺の務め、仕事を少しずつ覚え勉強して

立教開宗報恩会 大黒尊天大祭

います。二人で力を合わせ
てより良いお寺を目指して、
精進してまいります。と決
意を述べられ、拍手が参詣
者から沸きおこりました。

仮本堂（檀信徒会館）に
おける最後の法要、「開宗
七六六年護法報恩会と、山
鹿温泉大黒尊天大祭」が五
月三日、奉修されました。

太鼓とお題目で、導師の
住職英人上人ら四名の式衆
をお迎えして、まず立教開
宗護法報恩会が行われまし
た。開経偈、妙法蓮華経・
方便品第二、妙法蓮華経・
如来寿量品第十六、唱題行、
宝塔偈などの読経に続いて、
大黒尊天大祭が行われ、住
職によりお檀家の子大黒様

が洗体され、清められ、住
職英人上人、院首英知上人、
甘木大安寺・秋吉上人、唐
津龍王寺・福山上人により
木剣加持が行われ、全参詣
者が祈禱を受けました。

大黒様くらしの五徳

従来は法要後昼食、福引
が行われていましたが、仮
本堂での福引ですから今回
は昼食抜きで福引を行いま
した。まず住職が大黒さま
くらしの五徳

寿福増進安穩楽 よろこび

おおく たのしいくらし

除病延命息災我 びょうき

やわざわい ないくらし

福我円満重果報 かてい

えんまん あかるいくらし

衆人愛敬従恭敬 たがい

うやまい なかよいくらし

入来衆人得七宝 ひとつ

あつまる ゆたかなくらし

『南無妙法蓮華経』と唱和

しました。

福引・提供者に感謝

始めの一般福引では、今
年は参詣の皆様に参加賞が
配布されました。子供福引
では、全員にお菓子と図書
カードが渡され、特別福引
としてジャンケン大会が行
われ、勝ち残った子供に子
供特別賞が贈られました。

さく、数多く提供された
特別福引です。扇風機、商
品券、ビール、葛うどんセッ
ト、ヒジキ、和装履物、花
鉢、米など豪華な賞品
を提供された方や代理で住
職、総代が次々とくじを引
いていきました。

工事関係者大当たり

寒修行にも参加し、圓頓
寺改修工事をしている玄匠
の現場監督補佐・山本峻輔
さん提供の賞品を、代理で
上司の玄匠専務が引いたと

ころ、なんと一〇一番で自
分に当たりビックリ、辞退
し引き直しなどもあり、笑
いが絶えませんでした。最
後の住職賞を住職が引いた
ところ、また一〇一番で再
度辞退されました。圓頓寺
たより原稿付きの子供特別
賞、圓頓寺婦人会長賞、圓
頓寺住職賞には、執筆ご苦
労様の意味もあつたのでしよ
うか、拍手が贈られ、歓声
が上がりました。今年は、
坊守様の配慮で、特別賞が
当たらなかつた方々にも酒、
ビール、お茶、醤油などが
渡されました。

福引が終わり、弁当を檀
信徒会館で食べる人もあり、
特別祈念・回向のお札。祈
禱法楽加持された大黒様、
御幣、お札。弁当・お茶を
手に帰っていかれる人もあ
りました。

住職賞・大喜び

南関町上坂下 上田常人



私達の檀那寺・圓頓寺では本堂改修中のため、今年
の立教開宗護法報恩会と大
黒尊天大祭は、仮本堂の檀
信徒会館で行われました。
大黒尊天大祭の福引で思
いがけず立派な賞品、住職
賞の扇風機が当たり、大変
喜んでおります。私は大黒
天祭に初回から参加してい
ますが、一度も特別賞に当

たったことがありませんで
した。本堂改修の落慶法要
があります今年に住職賞を
いただき、大変縁起が良い
年だなど思っています。さ
らに、良い年になるように
心掛けていきたいと思っ
ています。

私は今年八十九歳にな
ります。住職賞でいただいた
扇風機で、暑い夏を涼しく
暮らしたいと思っています。

身に余る婦人会会長賞

鹿北町岩野 松下朝子

先日、JAのふれあいホー
ムのとき、西牟田さんから
立教開宗法要と大黒天祭に
誘われていましたので、初
めて五月三日お寺参りをし
ました。多くの方がお参り
されていました。いつも
のように立教開宗法要が終



わり、大黒様の祈禱があり
ました。その後住職様方が
皆さんの頭や肩、背中を撫
でて下さいました。それが
何とも気持ちの良い事、身
が清められ、心も熱くなり、
身体が軽くなりました。

大黒様のお祭りが終わっ
て、福引が始まり、全員に
参加賞があり、次々に渡さ
れる特別賞の立派なことに
びっくりです。私は初めて
お参りして、圓頓寺婦人会

子供ジャンケン大会に 参加して

熊本市 小学三年生
亀田しょうだい

会長様の大きなアジサイの
きれいな花鉢を、身に余る
思いでいただきました。あ
りがとうございました。
これからもっと大黒様の
事を詳しく知りたいと思っ
ています。



三歳のころから大黒天祭
に参加していますが、三年
前だったと思います。何の

欲もなく挑んだジャンケン大会で優勝し、たくさんのお菓子と図書カードをいただき、「俺、ごぼうさん（お坊さん）のジャンケン大会で優勝したもんね〜（笑顔）」と大喜びしていたころを思い出しました。（注・圓頓寺たより第六八号十八ページを参照下さい）

今年で六回目の挑戦。「よっしゃー！」と気合满满で挑んだジャンケン大会。少し恥ずかしさが出てきた姉とは違い、やる気満々で前に出て行きやや緊張もしていた様子でしたが、ワクワクとドキドキの入り混じった表情は何とも言えませんでした。

今回は、挑戦者も少なくあっさりと勝ってしまい、少しばかり物足りない様子もありましたが、喜んでい

ました。しかし、小学三年生にもなると、原稿の意味もすっかり理解できており、「わーっ」。俺、原稿書かなんと・・・と複雑な表情。三年前にはなかった反応でしたが、子供の成長を感じつつ結局「今年までよ」と約束し、代筆することになりました。（どうしても息子には甘いようです(笑)）。

子供の成長は早いものです。「今」を子供達と一緒に楽しもうと感じさせられた一日でした。

特別福引賞品提供者

圓頓寺住職、同子供特別賞、福岡・妙教寺、甘木・大安寺、唐津・龍王寺、福岡・元寇園教会、妙教寺・松尾英勝、圓頓寺本総代会、圓頓寺婦人会、鬼木信次郎、井上組、中

原電機、原文雄、とらや商会、松下仏壇店、盛文社印刷、寿司処・喜久屋、朝日新聞山鹿店、熊本第一信金山鹿支店、井沢保険事務所、天寿苑、上田常人、(株) 玄匠、池田設計事務所、日産プリンス山鹿店、松尾建築工業、玄匠・山本峻輔、味処・花見坂

(敬称略、順不同)

行事スナップ



初講・赤城義元上人の法話



初講：参詣の檀信徒



新年祝祷会：住職賞の上田さん（前列左）

お寺の行事

土用丑の日

七月二十日午前十時

お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月二十日（金）に、ほうろく灸祈禱会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要ですので、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円
一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円

○記念法話（午前十時）

○ほうろく灸祈禱は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（土）

午前十時

御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとつて一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月八日（土）

午前十時

荒神大祭

お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた三宝荒神（地・水・火）への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月

合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、地区世話人、墓地所有者
檀信徒合同奉仕

発行所

山鹿城趾

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七八二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.antonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-seibunya@hyper.ocn.ne.jp